

「横浜市西地区センター・西公会堂 ESCO 事業」 提案者を募集！（中小規模 ESCO 事業）

～5月8日から公募開始～

横浜市第 21 号事業として、「横浜市西地区センター・西公会堂」へ
ESCO 事業を導入します！

事業概要

横浜市では、平成 16 年から ESCO 事業を実施しており、26 施設に導入しています。
今年度公募を行う「横浜市西地区センター・西公会堂」は、設備機器の劣化による不具合や、
電気・ガス使用量の増加が問題となっています。
そこで、事業実施により、設備の安定稼働や省エネルギー化を実現できるよう事業者の
公募を開始します！

公募の条件

・下記条件がクリアできること。

省エネルギー率	年平均 15.6 %以上
二酸化炭素排出量の削減	年平均 15.2 %以上
光熱水費削減額	年平均 242 万円以上

・市内企業が参加グループの一員となること
を条件とします。



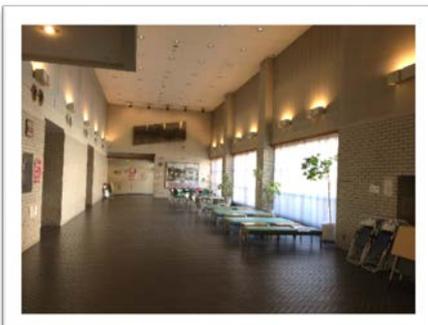
・改修必須項目（必ず実施することが条件）

- (1) 冷温水機 2 台の更新
- (2) 冷却塔 2 台の更新
- (3) 水処理装置（冷却塔用）2 台の新設
- (4) 冷温水ポンプ 2 台・冷却水ポンプ 2 台の更新
- (5) 空調機 4 台の更新
- (6) 中央監視装置一式の新設 ※1（裏面参照）
- (7) パッケージエアコン 2 台の更新
- (8) 可変風量装置（VAV）22 台の更新
- (9) ファンコイルユニット（FCU）28 台の更新
- (10) 換気用送風機・排風機 21 台の更新
- (11) 照明の LED 化（体育室、公会堂ホワイエ）
- (12) 地中線用負荷開閉器（UGS）1 台の更新

施設概要

横浜市西地区センター・西公会堂

- ・所在地：横浜市西区岡野 1-6-41
- ・敷地面積：5,579.00 ㎡
- ・建築面積：2,936.56 ㎡
- ・延床面積：3,727.63 ㎡
- ・建物しゅん工年：1981 年
- ・建築構造：RC 造 地上 2 階
- ・空調方式：中央熱源方式



（裏面あり）

提案審査

- 提案の審査は、外部委員による「横浜市 ESCO 事業提案審査委員会」において審査し、最優秀提案及び優秀提案をそれぞれ一者選定します。
- 最優秀提案者に選定された者に対し、事業実施への協議を進めるものとします。
また、次点となった優秀提案者に対し、原則として「**公民協働事業応募促進報奨金交付要綱**」に基づき、報奨金を交付します。
(詳細：<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/archi/sien/ppp/>)

募集要項の配布について

配布場所：横浜市中区住吉町4-45-1 関内トーセイビルⅡ 4階

横浜市建築局 公共建築部 保全推進課 省エネ担当 ([TEL:045-671-3996](tel:045-671-3996))

配布期間：2018(平成30)年5月8日(火)～15日(火)(12・13日(土・日)除く) 9時～17時(12時～13時を除く)

※5月8日(火)からホームページでも公開します。(ダウンロード可能)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/archi/esco/index.html>

事業スケジュール

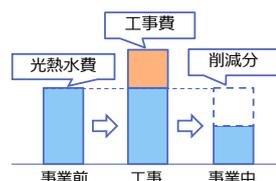
① 募集要項の配布	2018(平成30)年5月 8日(火)～15日(火)
② 説明会 ※事前申込が必要となります。	2018(平成30)年5月16日(水)
③ 参加申込受付	2018(平成30)年5月31日(木)
④ 現地調査・提案書・プレゼンテーション	2018(平成30)年6月中旬～9月下旬(予定)
⑤ 最優秀提案選定	2018(平成30)年10月上旬(予定)
⑥ 本契約	2019年10月(予定)
⑦ 工事期間	2019年10月～2020年3月(予定)
⑧ ESCO サービス期間 ※省エネ効果実証期間	2020年 4月～2023年3月(3年間)

What is ESCO?

老朽化した設備を改修するタイミングで**高効率機器の導入**や、**照明のLED化**、**空調システムの見直し**等を行い、電気やガスといったエネルギーを削減し、設備の安定稼働や省エネルギー化を行う事業。省エネルギー手法を広く募ることで民間の最新ノウハウを活用することができます。

更に事業中は、提案を受けた省エネルギーの保証を受けることができます。

本市はこれまで**年間約7億円**の光熱水費額削減に成功しています。



※1 中央監視装置とは?

事業所・ビル、店舗など建物全般のエネルギー使用状況の見える化に加え、建物の空調・照明などの設備機器や蓄電池を制御することで、最適なエネルギー運用を支援するシステム。機能や設備、運用方法にもよるが、約10%のエネルギー削減効果を期待することができる。

(参考「JEITA」資料より)

(JEITA・・・一般社団法人 電子情報技術産業協会)

ビルにおける一般的なエネルギー消費割合



お問い合わせ先

建築局保全推進課保全管理担当課長 中村 信樹 Tel 045-671-2915